



社会貢献に2300万円余

— 平成27年中の社会還元金を集計 —

和歌山県遊技業協同組合・社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会・組合加盟各支部・同各ホールが、平成27年中に実施した社会還元の金額がまとめ、先日、全日本社会貢献団体機構に報告しました。

貢献額の総合計は、2303万8千500円で、前年比、930万8千円の増加です。組合が治安対策のために寄贈・設置した「高性能防犯カメラ」や法人設立25周年記念として寄贈した軽四輪自動車（3台）、ホールの端玉利用による施設へのお菓子寄贈の増加が、還元額の総額を押し上げた要因です。

社会還元は、車いすやAEDをはじめ、テレビ、エアコンなどの電化製品の寄贈のほか、祭礼や花火大会、暴排、防犯活動への寄附金が主としたものですが、金額に換算できない社会貢献として、

- 大規模災害発生時にホールの駐車場を避難場所・緊急車両の駐車場所として提供すること等を定めた「災害支援等の協力に関する協定」を市と締結
 - 夏の子どもを守る運動、街頭犯罪抑止対策等の民警活動にボランティア参加
 - 海岸や地元地区、ホール周辺の清掃活動
- など、様々な活動を報告していただきました。
事務局の調査にご協力をいただき、ありがとうございました。

平成27年中の社会還元金表

組合・協力会	11,315,500円
支部 (15)	1,335,000円
ホール (91)	10,388,000円
総合計	23,038,500円

平成28年度事業計画・予算案を承認

平成28年3月28日、遊技会館において、社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会の「第90回定例評議員会」、続いて「第90回定例理事会」を開催しました。

出席した評議員、理事が、議案として提案された平成28年度の事業計画案、同予算案などを慎重に審議し、「第26回助成金交付事業」を500万円の予算で実施する案など、提案あった3議案について評議員会、理事会とも全会一致で承認しました。



◆◆◆お知らせ◆◆◆

平成25年4月から、社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会の事務局員として勤務していました

田尻博一氏

が、平成28年3月31日付で退職しました。在職中のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

なお、当面、田尻氏の後任は置かず、氏は、行政書士として、引き続き組合の業務に携わります。